

鉾屋町 町内会だより

懐かしの 映画資料展



もりおか町家物語館の大正蔵
2階時空の展示室で「懐かしの
映画資料展」が10月8日から始
まりましたので、さっそく伺っ
てみました。
今回の第1期は1960年代をテー
マにしています。

不定期発行
発行者
鉾屋町町内会
編集/文責/撮影
桂 汎用工房
脇田 桂一郎
印刷
小松総合印刷
株式会社

このころは日本映画2度めの
黄金期を迎えた時代でした。
また興行の期間を長くした、
いわゆる「ロング・ラン」で上
映を行うようになったのもこの
頃です。ロング・ランの先駆け
とも言える『十戒』『ベン・ハー』
に関する資料もありました。



当時のポスター、パンフレット、
チラシなど、よく残っていたな
と関心するものも。



盛岡市は映画の街としても名
を馳せていますが、今はなき古
い映画館の写真は、その全盛期
を偲ばせてくれます。



鉾屋町出身の女優・三原葉子
さんのコーナーもあります。生
家は現在、三岳亭になっている
藤原家、藤原毛皮商会でした。



これが三原葉子さん愛用のコ
ート。この服を着こなすのは難
しそうです。素質だけでなく貫
禄も必要かも。
第1期は今年の12月19日まで
行われます。



敬老会の記念品

敬老会の記念品を、昨年と同じく民生委員の佐藤好春さん、浅沼よし子さんがお届けしてくださいました。

うちの両親にも届きました。かわつつの商品券と、一盃森さんのおめでたい焼き、松田屋菓子舗さんの菓子詰め合わせ。



今年敬老会をはじめ、9月10月の町内会行事はすべて中止となりました。状況は良くなってきたようなので、今後に期待したいです。

盛岡彫刻シンポジウム 野外展

彫刻はいかに設置されるか

第47回 盛岡彫刻シンポジウム 野外展が、もりおか町家物語館風の広場で行われました。

気がつくくと並んでいる彫刻。今回はどのようにして彫刻を設置しているのかを見学させていただきました。

まずはこれです。木のように見えますが、石彫です。



慎重に台座の水平を取ります。



人力で運べる大きさに分割されているので、人手で組んでいきます。



金属製のボルトで接続。



安全のため、接続部分は仮止めの接着剤で固定します。



これも石を主体とした彫刻。



大きな石の部品は数百kgあります。クレーンで吊って移動させます。





クレーン操作で微調整しながら、置く場所を決めていきます。



これもクレーンで降ろします。



見た目はかわいいですが、大きさも重さもかなりあります。

大きいですが、木材と合板で組んであるので、それほど重くはありません。



これは何でしょう、ナット？



置いた後も、方向や角度を何度も修正し、鉄板やくさびを挟めて固定します。

こういった「過程」や「準備」などを見るのが昔から好きでした。ものができるしくみを知って、ものを見ると、新たな発見や学びも多いと思います。



なので、ごろつと転がして、みんなでよいしょよいしょと運びます。昔、絵本でこんなシーンを見たような気がします。



新しきも古きも
動き出す



前号でもお伝えしたNORAさんとRemさんの店ですが、第2・4の土日に店を開けることに決まったようです。

その初日である9月25日には出張出店もあり、ちよつとしたお祭りの雰囲気でした。



小綿商店さんは上堂にあるパン屋カフェです。フルーツサンドと様々な惣菜。パンが並びます。



珈琲北口さんは八幡平市にある、自家焙煎によるコーヒーのお店です。一杯いただきましたが、すごく美味しかったです。後でもう一杯と思ったら行列ができておりました。



これらに合わせて旧藤原家では、ピッピさんによる「使って楽しい、よみがえった食器たち」が行われました。

長年のあいだに集まった食器の販売です。中には旦那さんが金継ぎで直したものも。



小さな器を2つ買ってきました。何に使うか楽しみです。

朝顔日記 4

一旦夏の暑さで弱ったように見えましたが、9月半ばから急激に回復し、沢山の花を咲かすようになりました。

その数は百を超えるようになり、百五十以上になることも珍しくありません。



摘み取るこちらの身にもなってもらいたいですが、これも子孫を残し、生き残ろうとする植物の強さなのでしょう。(桂)

